

●小学生が作るみちのく潮風トレイルみどころ動画

岩手県立大学 総合政策学部
島田ゼミ(金野将治・島田直明)

●みちのく潮風トレイルとは？

みちのく潮風トレイルとは、青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐ1000kmにおよぶロングトレイル(長距離自然歩道)です。東日本大震災後に、環境省によって整備されました。

しかし、魅力の一つに「東北の歴史が育んだ歴史と文化」があげられていますが、公式トレイルマップには詳細な情報が少なくハイカーへの情報提供が課題といえます。トレイルの認知度向上や情報提供によって、交流人口の拡大が期待されています。



環境省作成のポスター

<https://tohoku.env.go.jp/mct/>



●小中学校における観光教育とは？

観光教育とは、観光が果たす役割について理解し、各地の観光資源の魅力を自ら発信できる力の育むことです。

成長の早期の段階から、地域固有の文化、歴史、観光による交流の意義などに関する教育(観光教育)を推進することにより、地域の愛着と誇りの醸成を図るとともに、観光の意義に対する理解を深めることが重要であると言われていています。

そこで・・・

地元小学生が地域の魅力を自ら発信し、情報提供を行うことによる課題解決を進めています！

●課題解決に向けて①

●2021年度までの取り組み

① 陸前高田市立広田小学校では、2017年度から近くの大野海岸(トレイルコースの一部)において岩手県立大の指導で海浜植生の再生や海ゴミ拾いなどに取り組んでいます(主に5年生授業)。

② 2020年度から県立大・環境省大船渡自然保護官事務所・陸前高田市観光物産協会と協力し、みちのく潮風トレイル沿いのみどころを紹介する地図の作成に取り組んできました(6年生授業)。



大野海岸



黒崎仙峡



みちのく潮風トレイル
陸前高田市
広田半島ルート
2020年度 広田小学校6年生版

2021年3月発行
陸前高田市立広田小学校6年生 制作

広田半島みどころスポット

みん前で広田半島のみどころを調べました。みちのく潮風トレイルを歩いたときに、ぜひ行ってみてください。

- 1 長瀬海岸のおエベス様
- 2 アウビ種苗センター
- 3 大野浜
- 4 津波記念碑
- 5 野外活動センター
- 6 黒崎遊歩道
- 7 小説浜
- 8 黒崎展望台
- 9 黒崎神社・黒崎温泉
- 10 樽島・青松島
- 11 稲荷神社
- 12 広田崎
- 13 新道路から広田湾
- 14 中沢浜貝塚
- 15 泊漁港
- 16 慈恩寺
- 17 石浜
- 18 桜ライン
- 19 大水神社おしら様
- 20 大岡漁港
- 21 法華様伝説
- 22 天狗の投げ石伝説
- 23 クジラの骨

みちのく潮風トレイル
陸前高田市広田半島ルート

2020年12月現在(2021年2月発行)
制作：陸前高田市立広田小学校6年生
& 岩手県立大・船田ゼミ/環境省大船渡自然保護官事務所

2020年度 広田小学校6年生

一人一つずつみどころについて説明文を書いた

●課題解決に向けて②

●2022年度の取り組み

みどころ地図をさらにわかりやすく伝えるために、**地元小学生**(広田小学校)がつくる**地域**(広田半島)の**みどころ動画**の作成を進めています。現在、録画を終え、編集作業が始まりました。2023年春に**陸前高田市観光物産協会**の**YouTubeチャンネル**で公開予定！



①

① 年度初めに**環境省レンジャー**の方からみちのく潮風トレイルに関する**レクチャー**を受けました。



②

②③ 初夏のころ、広田半島のトレイルコースである**自然豊かな黒崎仙峡**の遊歩道を歩いて、**自然観察**をしながら、自分たちなりの**みどころ**を探しました。



③



④

④ オンラインで**ロングトレイル**を歩かれた**ハイカー**さんからお話をお聞きしました。



⑤

⑤⑥ 2学期には**広田崎**や**津波記念碑**などを説明を聞きながら**散策**。**動画の原稿**にするために現地の様子を確認しました。



⑥



⑦

⑦⑧ 班ごとに**動画で紹介するテーマ**を決め、原稿を考えます。はじめはこれまでもらった**資料**などを読み直し、自由に**アイデア**を出し合いました。



⑧



⑨

⑨ **中間発表会**を行いました。実際に**動画を撮影**し、**改善点**などを指摘してもらいました。

小学生向け海浜植物図鑑の作成

岩手県立大学 総合政策学部

島田直明

海浜植物授業に用いるために、岩手県内に生育する海浜植物をほぼ網羅する図鑑を作成しました。小学生向けに、できるだけ安易な表現、ルビを振るなど工夫をしました。



<p>ハマエンドウ (浜豌豆) 岩手県レア度: ★☆☆ マメ科</p> <p>日本の分布: 日本全土 世界の分布: 北半球の亜寒帯から温帯 分布: 草本帯</p> <p>花の季節: 5~7月 花の色: 青紫~赤紫色</p> <p>①カーペット状に広がることも多く、花の時期はとてもキレイ。②花の拡大。③葉は9~13枚で一組になる。④さやの中には食べることができる若い種子が入っている。ほのかにグリーンピースの味がする。</p>	<p>ハマナス (ハマナシ・浜梨) 岩手県レア度: ★☆☆ バラ科</p> <p>日本の分布: 北海道~本州北部 世界の分布: 北東アジア 分布: 低木帯</p> <p>花の季節: 5~8月 花の色: 青紫</p> <p>①写真の右は海、左は陸地に近い。ハマナスは海に近いところでは背が高く、陸地に近づくと背が低くなる。②葉は7~11枚で一組。表面はでこぼこが目立つ。③赤い果実の中には小さな種子が50個くらい入っている。</p>	<p>ハマケンゲイソウ (浜弁慶草) 岩手県レア度: ★☆☆ ムラサキ科</p> <p>日本の分布: 北海道~本州北部 世界の分布: 北東アジア・アリューシャン列島 分布: 打ち上げ帯</p> <p>花の季節: 7~9月 花の色: 青紫色</p> <p>①花は釣鐘のような形になっている。青紫色でとても美しい。②これが一つの個体。この写真の個体は直径2mくらいである。③大きい葉は手のひらくらいの大きさになる。</p>	<p>ナミキソウ (浪来草) 岩手県レア度: ★★☆☆ シソ科</p> <p>日本の分布: 北海道~九州 世界の分布: 北東アジア 分布: 低木帯</p> <p>花の季節: 7~9月 花の色: 紫色</p> <p>①まとまって生育していることが多く、花のこい紫色がとても美しい。②紫色の花の中心は白くなる。③葉の表面は脈がはっきりしている。でこぼこに見える。葉の長さは1.5~3.5cmと小さい。黒っぽく見ているのは果実。中に4つの種子が入っている。</p>	<p>スナビキソウ (砂引草) 岩手県レア度: ★★☆☆ ムラサキ科</p> <p>日本の分布: 北海道~九州 世界の分布: ユーラシア大陸 分布: 打ち上げ帯</p> <p>花の季節: 5~8月 花の色: 白色</p> <p>①とどろき大きく広がったスナビキソウの集団を見ることがある。②一つの株から、たくさん根がでてきていることが多い。③花びらがらから分かれる。花の色は白色で、中心は黄色になる。④果実。1cmくらいになる。草としては大きい。</p>
--	--	--	--	--

図鑑の海浜植物の例

児童に反応がよかったのは、「レア度」。調査結果に基づき3段階で示している。

海浜植物図鑑をもとに海浜植物カードを作成しました。授業中に砂浜で見つけることができた植物について、カードを配布しました。モチベーションアップにつながったようです。



<p>オカヒジキ (陸産尾葉・ヒユ科) 岩手県レア度: ★</p> <p>葉はとても細く、先ががっているため、さわると痛い。波打ち際の近くに生育していることが多い。若い時期の葉はゆでて食べられる。海藻のヒジキに似ているため、この名になった。</p>	<p>ハマボウフウ (浜防風・セリ科) 岩手県レア度: ★★</p> <p>葉は緑色であつく、表面はテカテカしている。6~8月に白く小さい花がたくさんあつまってくる。根っこは太く、地中に長くまっすぐのびている。若い葉はセリの香りがしておいしい。</p>	<p>ハマゴウ (浜香・シソ科) 岩手県レア度: ★★★</p> <p>岩手県では60年ぶりに確認された。以前生えていたのも大野海岸だった。まだ小さい個体一つしか生えていないので、注意深く観察が必要がある。</p>	<p>ハマギク (浜菊・キク科) 岩手県レア度: ★</p> <p>秋になると海岸の岩場で花をさかせる。まわりは白、中心に黄色い花がある。花の直径は5-8cm。根元はかたくなる樹木。日本のキクの仲間。樹木になるものはめずらしい。</p>
---	---	--	---

カード配布後すぐに、自分たちでルールを決めて、ゲームを始める児童たち。

